

## 令和4年度(2022年度)「健康福祉に関する意識調査」の実施結果について

### 1 目的

健康福祉施策等に係る区民等の実態とニーズを把握し、今後の事業の見直し・改善、目標の達成度を測る指標として活用するとともに、中野区地域福祉計画等の検討に資することを目的とする。

### 2 調査の概要

調査名	調査対象者	調査 標本数	有効回収数 (回収率)
健康福祉に関する意識調査	18歳以上の区民	3,000人	980人 (32.7%)

### 3 調査期間

令和4年9月20日～10月11日

### 4 調査方法

郵送による配布、郵送・インターネットによる回収

### 5 調査結果(前回調査:令和2年5月)

※前回調査結果と比較し、変化が大きかった項目

○見守り・支えあい活動については、「活動していないし、これからも活動したいと思わない」が、全体で38.8%と前回調査時より19.1ポイント増加している。特に、20歳代で44.5%、30歳代で49.4%と前回調査時よりそれぞれ22ポイント以上増加した。

○地域での住民同士での交流の場については、「ない」または「どちらかといえばない」が、40歳台で82.2%と前回調査時より15.4ポイント増加した。

○高齢者会館の利用については、「あまり利用していない」または「全く利用したことがない」が、70歳代で92.0%と前回調査時より11.2ポイント増加した。

そのうち、利用していない理由は、「行く必要を感じないから」が、60.9%と最多で前回調査時より12.2ポイント増加した。

○健康状態については、「健康でない」または、「どちらかといえば健康でない」が80歳代で33.3%と前回調査時より10.3ポイント増加した。